

製品名: TIRAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18966**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	TIRAP
別名	TIRAP; MAL; Toll/interleukin-1 receptor domain-containing adapter protein; TIR domain-containing adapter protein; Adaptor protein Wyatt; MyD88 adapter-like protein
遺伝子 ID	114609.0
SwissProt ID	P58753
免疫原	抗血清はヒト TIRAP 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 52-101

背景

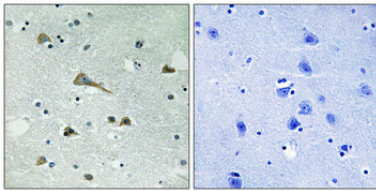
自然免疫系は、病原体関連分子パターンを識別する Toll 様受容体 (TLR) を介して微生物病原体を認識します。TLR はそれぞれ異なる

病原体関連分子パターンを認識し、すべてのTLRはシグナル伝達を担うTollインターロイキン1受容体(TIR)ドメインを有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫系のTLR4シグナル伝達経路に関与するTIRアダプタータンパク質です。NF- κ B、MAPK1、MAPK3、JNKを活性化し、サイトカイン分泌と炎症反応を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、いくつかの転写バリエーションが生じますが、すべてのバリエーションが完全に解明されているわけではありません。[RefSeq提供、2008年7月]、機能：自然免疫応答におけるTLR4シグナル伝達経路に関与するアダプター。IRAK2およびTRAF-6を介して作用し、NF- κ B、MAPK1、MAPK3、JNKの活性化を誘導し、サイトカイン分泌と炎症反応を引き起こします。多型性：TIRAPの遺伝的変異は、侵襲性肺炎球菌感染症、菌血症、マラリア、結核に対する感受性または抵抗性に影響を与える可能性があります。類似性：1つのTIRドメインを含みます。サブユニット：ホモ二量体。MyD88とヘテロ二量体も形成します。TLR4およびIRAK2とそれぞれのTIRドメインを介して結合します。PKRおよびTBK1と結合します。IRAK1およびTLR9とは相互作用しません。組織特異性：肝臓、腎臓、脾臓、骨格筋、心臓で高発現しています。また、末梢白血球、肺、胎盤、小腸、胸腺、結腸、脳でも検出されます。、

研究分野

有料道路のような;

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4°C、一晚)に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリスEDTA (pH8.0)を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール(右)は、免疫原ペプチドで前処理した。